新型コロナウイルス　ゲノム解析結果（2026年）

【目的】 新型コロナウイルスについて、石川県内の流行状況を把握するとともに、重篤度やワクチン効果などに影響を与える可能性がある変異株の出現を監視するために、遺伝子配列を解読し、ゲノム解析を行っています※。

※2023年5月8日～ 2025年4月6日は協力医療機関から提供された検体、2025年4月7日～は急性呼吸器感染症（ARI）の病原体定点から提出された検体のうち新型コロナウイルスが検出された検体を対象に解析を行っています。

【対象】 2026年に石川県内のARI病原体定点から提出された検体のうち、新型コロナウイルスが検出された11検体

【結果】 10月受付の検体から、RK.1.5系統、SS.2系統が検出されました。

新型コロナウイルスゲノム解析結果（石川県　2026年）

受付年月 年	月	（参考）親系統		Lineage	検出数
2026	1	組み換え体	NB.1.8.1系統	RC.2系統	1
	2	組み換え体	NB.1.8.1系統	PQ.2.8.1系統	1
	6	BA.3系統	BA.3.2系統	RS.1.1系統	1
				RS.1.3系統	1
	7	BA.3系統	BA.3.2系統	SS.2系統	1
	8	BA.3系統	BA.3.2系統	SS.2系統	2
				RS.1.3系統	1
	9	BA.3系統	BA.3.2系統	RS.1.3系統	1
	10	BA.3系統	BA.3.2系統	SS.2系統	1
		組み換え体	NB.1.8.1系統	RK.1.5系統	1

注）解析日時点のLineage解析結果を集計しています。

（参考）WHOによる変異株のリスク評価ごとの分類
（2026年7月27日時点）

懸念される変異株（Variants of Concern：VOC）	主に感染性や重篤度が増す・ワクチン効果が減弱するなど、性質が変化した可能性が明らかな株	該当なし
注目すべき変異株（Variants of Interest：VOI）	主に感染性や重篤度・ワクチン効果などに影響を与える可能性が示唆されるかつ国内侵入・増加するリスク等がある株	JN.1
監視下の変異株（Variants under Monitoring：VUM）	主に感染性や重篤度・ワクチン効果などに影響を与える可能性が示唆される又はVOC/VOIに分類されたもので世界的に検出数が著しく減少等している株	PQ.16.1.1 NB.1.8.1 XFG BA.3.2

https://www.who.int/activities/tracking-SARS-CoV-2-variants

全国の新型コロナウイルス感染症ゲノム解析結果

全国のゲノム解析結果は「国内の新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)変異株の検出状況について」をご覧ください

更新日：2026年10月28日